

三康文化研究所

研究員

オススメ本コーナー

南光坊天海の自筆書状について

私はかつて『南光坊天海発給文書集』を刊行して、その後の追加を合わせて約400点余の天海の発給文書を写真版入りで紹介をした。
今回の発表ではその中で天海の自筆書状を特定して紹介したい。右筆の作成したものや公文書などと区別して整理して発表したい。

参考図書はこちらです。

- 『南光坊天海発給文書集』(請求記号:188.2283-Te36)
- 『南光坊天海の研究』(請求記号:188.228-U27)
- 『南光坊天海関係文書集』(請求記号:188.228-U27)

(宇高良哲)

第15回 研究員のオススメ本紹介コーナー

〈南光坊天海の自筆書状について〉

今回ご紹介いただいた三康文化研究所研究指導員はこちら！



宇高 良哲 (うだか よしあき)

専門分野: 日本近代仏教史、浄土宗、天台宗、真言宗、修験宗

第2回公開講座では『南光坊天海の自筆書状について』の題目で講演されます。

今回は、公開講座に先駆けて、公開講座と同じテーマでオススメ本の紹介をしていただきました。

南光坊天海の自筆書状 南光坊天海とは？

天文五年(一五三六)一寛永二〇年(一六四三)一〇月二日。
はじめ随風といひ、南光坊または慈眼大師ともいう。近世初期に活躍した天台僧。
徳川家康・秀忠・家光の三将軍に侍した近世初期の仏教界の代表的人物。
比叡山の復興、関東天台の確立、家康の東照大権現号宣下、日光東照宮造営、寛永寺の創設、輪王寺門跡の設置、天海版大藏經の刊行など近世初期の天台宗の興隆にもっとも功績があった。

【参考】東本願寺『慈眼大師全集』(講書刊行会、一九七六)、延喜之略『日本仏教史』八・近世期之二(龍溪書房、一九七〇)。
【執筆】宇高良哲
三康文化研究所 Web 版 ID: <https://3kondohoncho.jp/dajin/inter.php/%E3%83%9A%E3%83%B7> 参照。(最終閲覧日 2025.09.06)



南光坊天海の自筆書状について

私はかつて『南光坊天海発給文書集』を刊行して、その後の追加を合わせて約 400 点余の天海の発給文書を写真版入りで紹介をした。

今回の発表ではその中で天海の自筆書状を特定して紹介したい。右筆の作成したものや公文書などと区別して整理して発表したい。

参考図書はこちらです。

『南光坊天海発給文書集』（請求記号:188.2283-Te36）

『南光坊天海の研究』（請求記号:188.228-U27）

『南光坊天海関係文書集』（請求記号:188.2283-Te36）

（宇高良哲）